

■ 一般目標 (GIO)

歯科衛生士養成課程の最初期にあたり、すべての医療従事者に共通して必要となる、医療に対する考え方、規範、患者の権利および研究上必要な事項について理解する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・ 医療倫理の理論と実践について説明できる。
- ・ 医療従事者としての倫理的義務や責任を理解し、適切な行動について説明できる。
- ・ 患者中心の医療にについて説明できる。
- ・ バイオエシックスについて説明できる。
- ・ インフォームド・コンセントの重要性を説明できる。
- ・ 医療倫理における規範や法律、倫理審査などの基本的な概念を説明できる。
- ・ 研究と医療倫理の関連性、研究活動における倫理的配慮について説明できる。

■ 教科書：1 歯科衛生学シリーズ 歯科医療倫理学 (医歯薬出版)
2 プリント配布

■ 参考書：1 スタンダード社会歯科学 第8版以降 (学建書院)

■ 授業時間： 月曜日 13:00~14:50

■ オフィスアワー：上原 任 月曜日 17:00~18:00 (uehara.tamotsu@nihon-u.ac.jp)

■ 授業の方法：プリント、教科書をもとに講義を中心とした授業である。一部の課題ではレポートを課し、グループワークを主体とした演習を行う。

■ 準備学習・各回講義項目と学修目的・到達目標についての予習(30分)と復準備学習時間：習(60分)を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験(60%)、レポート(20%)、グループワークの作業と発表に対する評価(20%)で評価する。

■ 注意事項：教科書1は授業時間中・準備学習中に随時参照できるよう準備すること。参考書1は準備学習やレポートの際に活用すること。

■ 実務経験：上原 任：日本大学歯学部附属歯科病院、その他の医療機関での臨床経験に基づき、実診療と医療倫理との関係について、学修する機会を提供する。

■ 予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2回 6月1日 上原 任	1. なぜ医療倫理を学ぶのか 1) 伝統的な医の倫理から新しい医の倫理へ	・ 「ヒポクラテスの誓い」と「ジュネーブ宣言」を説明できる。 ・ 伝統的な医の倫理だけでは対処できなくなった背景を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	2) 医療従事者の基本的義務 3) 患者中心の医療 4) 歯科医療に関する権利と義務, および歯科衛生士の社会的使命 (教1)pp. 1-9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統的な医の倫理に対する批判について説明できる。 ・ 医療従事者の基本的な義務を説明できる。 ・ 患者中心の医療について説明できる。 ・ 歯科医療に関する権利と義務について説明できる。 ・ 歯科衛生士の社会的使命について説明できる。
第3・4回 6月8日 上原 任	2. 医療倫理に関する規範とバイオエシックス 1) 医の倫理に関する規範 (1) 医療従事者の職業倫理 (2) 患者の権利 (3) 人を対象とする医学研究の倫理 (4) わが国における人を対象とする研究への法規等 2) バイオエシックス (1) バイオエシックスとは何か (2) バイオエシックス誕生の背景 (3) バイオエシックスに関する国際規範 【レポートを出題する】 レポートの範囲は, 3) バイオエシックスにかかわる問題 (1) 生命の始まりに関わる倫理的問題 (2) 生命の終わりに関わる問題 (3) その他の問題 1) 遺伝学的検査・診断	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療従事者の職業倫理について説明できる。 ・ リスボン宣言について説明できる。 ・ ニュルンベルク綱領について説明できる。 ・ ヘルシンキ宣言について説明できる。 ・ 治験, その他の研究規制について説明できる。 ・ バイオエシックスとは何か説明できる。 ・ 臨床倫理学について説明できる。 ・ レポート課題の範囲と内容を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	2) 遺伝子治療 の中から選択するものとする。 (3) その他の問題 3) 再生医療 4) 臨床倫理学 (教1) pp. 10-31	
第5・6回 6月15日 上原 任	【選択したレポートの課題を届け出る】 3. インフォームド・コンセント 1) インフォームド・コンセントとは何か 2) インフォームド・コンセントの実際 3) インフォームド・コンセントと患者中心の医療 (教1) pp. 32-42	<ul style="list-style-type: none"> ・前回出題したレポート課題の中から各自が選択したテーマを届け出る。 ・インフォームド・コンセントの歴史について説明できる。 ・正当な診療行為の三要件について説明できる。 ・同意が有効であるための条件について説明できる。 ・医療者は、何をどこまで説明すべきか説明できる。 ・インフォームド・コンセントは誰が得るのか説明できる。 ・インフォームド・コンセントは誰から得るのか説明できる。 ・患者が未成年者または判断能力のない成人の場合のインフォームド・コンセントはどのように得るのか説明できる。 ・同意が無効になる場合について説明できる。 ・インフォームド・コンセントが不要な場合について説明できる。 ・説明の省略が認められる場合について説明できる。 ・患者が医師の勧める治療法を拒否した場合について説明できる。 ・インフォームド・コンセントと医療者の裁量の関係について説明できる。 ・インフォームド・チョイスについて説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・セカンド・オピニオンについて説明できる。 ・インフォームド・コンセントと患者中心の医療について説明できる。
<p>第7・8回 6月22日 上原 任</p>	<p>【選択したレポート課題の参考文献を提出する】</p> <p>4. 研究と医療倫理</p> <p>1) 研究と医療倫理の関わり</p> <p>2) 倫理的配慮の要件</p> <p>(1) 人を対象とした研究に関わる倫理指針</p> <p>(2) 倫理審査</p> <p>(3) どのような研究が倫理的配慮を必要とするか</p> <p>(4) 研究を進めるうえで倫理的問題が生じるとき</p> <p>(5) 利益相反</p> <p>3) 研究への協力依頼</p> <p>(1) 説明事項</p> <p>(2) 研究依頼と承諾書 (教1)pp. 43-51</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3・4回で出題したレポートを執筆するために必要と思われる参考文献のリストを提出する。 ・なぜ、研究で医療倫理が必要なのか説明できる。 ・人を対象とした研究に関わる倫理指針について説明できる。 ・疫学研究に関する倫理指針について説明できる。 ・臨床研究に関する倫理指針について説明できる。 ・人を対象とする医学系研究に関する倫理指針について説明できる。 ・倫理審査について説明できる。 ・倫理的配慮を必要とする研究について説明できる。 ・研究で倫理的問題が生じるときについて説明できる。 ・利益相反について説明できる。 ・説明事項について説明できる。 ・研究依頼と承諾書について説明できる。
<p>第9・10回 6月29日 上原 任</p>	<p>【選択した課題のレポートを提出する】</p> <p>5. 医療現場における、医療者と患者の行動</p> <p>1) 健康と病気の基本概念</p> <p>2) コンプライアンス(アドヒアランス)</p> <p>3) おまかせ医療</p> <p>4) 保健行動における動機と負担</p> <p>5) 患者の行動</p> <p>6) 歯科医療従事者の行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第3・4回で出題したレポートを提出する。 ・QOL とは何か説明できる。 ・QOL の向上を目指す医療について説明できる。 ・QOL と ADL の関連について説明できる。 ・歯科医療現場での QOL について説明できる。 ・口腔機能と QOL について説明できる。 ・コンプライアンス(アドヒアランス)について説明できる。 ・保健行動における動機と負担に

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	(教1)pp. 52-65	<p>ついて説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己抑制型行動特性について説明できる。 ・保健指導について説明できる。 ・セカンド・オピニオンについて説明できる。 ・自己決定の支援について説明できる。 ・病状と心理的要因について説明できる。 ・歯科医療従事者の行動について説明できる。 ・患者へのわかりやすい説明について説明できる。
<p>第11・12回 7月6日 上原 任</p>	<p>6. 演習 演習課題は次の中から割り当てる。 1) 個人情報の取扱い 2) 著作権 3) 臨床実習での身だしなみ 【演習成果物の提出】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療倫理の行動原理に沿った行動についてグループワークで意見を述べる。 ・個人情報の取り扱いについて。 ・著作権について。 ・臨床実習での身だしなみについて。 ・演習成果物を提出する。
<p>第13・14回 7月13日 上原 任</p>	<p>6. 演習(発表) 各グループの演習成果物を使用して演習成果を発表する。</p> <p>7. 医療倫理のまとめ 1) 歯科衛生士として必要な倫理的行動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療倫理の行動原理に沿った行動について前回のグループワークの結果を発表する。 ・基礎実習で必要な倫理的な行動について説明できる。 ・臨床実習で必要な倫理的な行動について説明できる。 ・卒業研究で必要な倫理的な行動について説明できる。 ・臨床で歯科衛生士に必要な倫理的な行動について説明できる。 ・本教科の学修内容の概要を説明できる。